

◆5月14日（水）8：30～12：30生態モニタリング調査

参加者：総勢15人 この日、農水省の森林・山村多面的機能発揮交付金事業で生態モニタリング調査を行いました。

●お招きした講師の先生方

NO	氏名	調査分野	お住まい	NO	氏名	調査分野	お住まい
1	溝口 澄子	植物	筑紫野市	4	廣 伸俊	鳥	太宰府市
2	小湊 正憲	動物・昆虫	大野城市	5	入江 孝司	植物	那珂川町
3	戸町 チツル	シダ類	春日市				

●参加された方々 10人

NO	所属	氏名	出発前の自己紹介日程説明
1,2	阿志岐小学区の保護者、上阿志岐西	林英幸・朱音さん	
3	筑紫野子ども劇場大人の活動部会	小野曠子さん	
4	々	後藤由美子さん	
5	々	土井由岐子さん	
6	々	森松栄子さん	
7	々	馬田涼子さん	
8	天山区新上東区	吉井守さん	
9	天山ふれあい会	溝口充昭さん	
10	天山ふれあい会	井上元生	

参加された筑紫野子ども劇場大人の活動部会の馬田涼子さんが寄稿されました。

ありがとうございました。会長藤野貫治、広報担当井上元生

●宮地岳生態モニタリング調査に参加して

ちくしの子ども劇場 馬田涼子

子ども劇場大人の活動部会で、地域の歴史や自然を知る活動を考えていたところ、徐福伝説が残るといふ「童男かん女岩」が天山にあることを聞き、会員5名で今回の生態モニタリング調査にご一緒させていただきました。天山公民館を出発し、鳥の声ノアザミやワラビのあぜ道を抜けるといざ宮地岳へ。新緑が眩しい森の中は鳥がさえずり、野草が芽吹き、クサイチゴが真っ赤に熟していた。生態調査がどのように進められるのかもよくわからずに参加していた私達ですが、ただただ自然の営みに感動し、同行されていた森林インストラクターの方々から鳥や動物・植物の名前や説明をお聞きしては、五感を刺激される楽しいものと

●ノアザミとワラビの群落の「芋が谷池土手」で入江先生の柿の雄花と雌花の話聞く。



●クサイチゴ（甘酸っぱい懐かしい味が口いっぱい広がる）



●大きく口を開けてさえずるホオジロ



●高木神社手前から湿地帯に



●H18年に子ども会と取り付けた野鳥の巣箱に昼寝していたムササビ



童男弔女岩にたどり着くと、そこは筑紫野市の北西部を一望できる場所でした。その昔、秦の時代に徐福一行が有明海の内陸部となるこの岩に船を繋ぎ留めて上陸したという伝説に思いをはせながら新鮮な空気を胸いっぱいいただきました。



少しの時間でしたが、自然を守り育て次の世代に継承していくための保全活動がいかに大切であるかを考える良い機会となりました。有り難うございました。

●コガクウツギ

●キッコウハグマ（キッコウマン醤油商標？） ●黄葉が美しいウリハダカエでの実



●ヤマボウシの白い花

●ソヨデの花（雌雄異株）

●ビロードイチゴ（木はとげがいっぱい）



◆生態モニタリング調査を5月におこなったのは、5月には木々の花が咲くことだろうということでおこないましたが、樹木の種類によって咲く時期が異なり、多くの種類の樹木の花を見ることができませんでした。樹木にも生きていく知恵を絞って、それぞれに花を咲かす時期を決めているんだということがよくわかりました。 秋には、ぜひ、童男弔女岩に！ 広報担当 井上元生